明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0046	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TESTPRE-INTERMEDIATE, Yumiko Mizoguchi 他, SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TESTINTERMEDIATE, Naoyuki Bamba 他, 『データベース4500』萩野治雄（2年次より継続）, 『NextStage』 4th Edition, 瓜生豊　他（2年次より継続）		
担当教員	松田 安隆		

到達目標

·相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。
·日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。
·社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に応用して役立てることができる。	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができる。	相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や異文化を理解しようとする姿勢を身に付け、実際の場面での英語の使用に役立てることができない。
評価項目2	日常生活や自分の身近なことについて、的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できる。	日常生活や自分の身近なことについて、ある程度の的確さ、流暢さ、即応性をもって内容を聴解、読解、伝達できない。
評価項目3	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、意見交換ができる。	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができる。	社会性のある話題や自分の専門に関する基本的な情報や考えについて、内容の聴解、読解、伝達に加え、簡単な意見交換ができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	リスニング、文法、語彙、リーディングなどの個別スキルのレベルアップに加え、TOEICで高得点が狙えるよう英語力の向上を目指す。
授業の進め方・方法	単語の習得を確認する小テストの後、教科書を使った講義と演習を行う。授業で行った内容について復習をする。
注意点	授業中の居眠り、忘れ物、携帯電話の使用などは授業態度減点扱いとなる。毎時間の予習、復習をしてくること。課題をきちんとこなすこと。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業概要説明 PRE-INTERMEDIATE Unit 1 Travel	授業進行について理解し1年間を通して実行できる。旅行に関する語句・表現を覚える。名詞を学ぶ。
		2週	Unit 2 Dining Out	レストランや食事に関する語句·表現を覚える。形容詞を学ぶ。
		3週	Unit 3 Media	メディアに関する語句・表現を覚える。副詞を学ぶ。
		4週	Unit 4 Entertainment	エンターテインメントに関する語句·表現を覚える。時制を学ぶ。
		5週	Unit 5 Purchasing	買い物に関する語句・表現を学ぶ。主語と動詞の一致を学ぶ。
		6週	Unit 6 Clients	顧客との取引に関する語句・表現を覚える。能動態・受動を学ぶ。
		7週	Unit 7 Recruiting	求人・採用に関する語句・表現を覚える。動名詞・不定詞を学ぶ。
		8週	中間試験実施	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として表現することができる。
	2ndQ	9週	中間試験返却、Unit 8 Personnel	人事に関する語句・表現を覚える。代名詞を学ぶ。
		10週	Unit 9 Advertising	広告・宣伝に関する語句・表現を覚える。比較を学ぶ
		11週	Unit 10 Meetings	会議に関する語句・表現を覚える。前置詞を学ぶ。
		12週	Unit 11 Finance	予算・費用に関する語句・表現を覚える。接続詞を学ぶ。
		13週	Unit 12 Offices	オフィスに関する語句・表現を覚える。前置詞と接続詞の違いを学ぶ。
		14週	Unit 13 Daily Life	日常生活に関する語句・表現を覚える。関係代名詞を学ぶ。
		15週	Unit 14 Sales & Marketing	営業・販売促進に関する語句・表現を覚える。語彙の結びつきを学ぶ。
		16週	期末試験	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として表現することができる。
後期	3rdQ	1週	期末試験返却、Unit 15 Events	イベントに関する語句・表現を覚える。語彙の結びつきを学ぶ。

		2週	INTERMEDIATE Unit 1 Travel	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。
		3週	Unit 2 Dining Out	レストランや食事に関する語句･表現を覚える。形容詞を学ぶ。
		4週	Unit 3 Media	メディアに関する語句・表現を覚える。副詞を学ぶ。
		5週	Unit 4 Entertainment	エンターテインメントに関する語句･表現を覚える。時制を学ぶ。
		6週	Unit 5 Purchasing頭練習、クイズ１５	買い物に関する語句・表現を学ぶ。主語と動詞の一致を学ぶ。
		7週	Unit 6 Clients	顧客との取引に関する語句・表現を覚える。能動態・受動を学ぶ。
		8週	中間試験実施	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として表現することができる。
	4thQ	9週	中間試験返却、Unit 7 Recruiting	求人・採用に関する語句・表現を覚える。動名詞・不定詞を学ぶ。
		10週	Unit 8 Personnel	人事に関する語句・表現を覚える。現在分詞･過去分詞を学ぶ。
		11週	Unit 9 Advertising	広告・宣伝に関する語句・表現を覚える。代名詞を学ぶ。
		12週	Unit 10 Meetings	会議に関する語句・表現を覚える。比較を学ぶ
		13週	Unit 11 Finance	予算・費用に関する語句・表現を覚える。前置詞を学ぶ。
		14週	Unit 12 Offices	オフィスに関する語句・表現を覚える。接続詞を学ぶ。
		15週	Unit 13 Daily Life	日常生活に関する語句・表現を覚える。前置詞と接続詞の違いを学ぶ。
		16週	期末試験	これまでの学習で理解したことをきちんと成果として表現することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	

				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	2	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0